

第6回 ヨウ素利用研究国際シンポジウム

プログラム

- ◆ 日 時 : 平成15年10月17日(金) 9:30~17:30
- ◆ 場 所 : 千葉大学けやき会館
- ◆ 主 催 : ヨウ素利用研究会、千葉大学
- ◆ 共 催 : (社)日本化学会、日本ヨード工業会
- ◆ 協 賛 : (社)日本薬学会、(社)有機合成化学協会、(財)千葉県産業振興センター、
(社)千葉県製薬協会、日本ヨード懇話会、千葉大学共同研究推進センター、
千葉工業大学技術・情報センター

< I部:講演 > 1F大ホール

No.	予定時間	分類	講演テーマ	研究発表者	所属団体
	9:30~9:35	挨拶	小倉 克之 (ヨウ素利用研究会会長、千葉大学教授)		
I部:(座長:北村二雄)					
①	9:35~10:10	招待講演	環境調和を指向した高分子リサイクル型超原子価ヨウ素試剤の開発と合成化学的利用	東郷秀雄	千葉大学理学部
(座長:落合正仁)					
②	10:10~10:45	招待講演	ヨードニウムイオンを鍵とする立体選択的ヘテロ環合成	小松満男	大阪大学大学院工学研究科
(座長:横山正孝)					
③	10:45~11:20	招待講演	α -ヨウ化銀のガラスマトリックス中への常温安定化	辰巳砂昌弘	大阪府立大工学部
(座長:金子克美)					
④	11:20~12:20	招待講演	The role of iodine in carbon science and technology	L.Radvic	米:ペンシルバニア州立大

< II部:ポスターセッション > 3Fレセプションホール

*時 間 ; 展示 12:10~14:30.....発表と質疑(13:00~14:30)			
A	基礎分野	発表件数 15件	物理化学、有機反応理論、分析化学、触媒化学、分子生物学等
B	応用分野	発表件数 3件	資源、環境、エネルギー、エンジニアリング、プロセッシング等
C	実用分野	発表件数 5件	利用、応用、実用品の開発と製品紹介(医薬品、殺菌消毒剤等)
W	FIU ワーキンググループ	発表件数 8件	生物圏におけるヨウ素の働きとその循環機構
併設展示		ヨウ素製品等の展示、ヨウ素分析機器等の展示 (3F会議室、時間; 随時)	

< III部:一般講演 > 1F大ホール

No.	予定時間	分類	講演テーマ	研究発表者	所属団体
(座長:小倉克之)					
⑤	14:40~14:55	一般講演	ヨウ化バリウムを用いるバリウム反応剤の発生法とその応用	柳澤章	千葉大学理学部
⑥	14:55~15:10	一般講演	エチニルヨードの安定化とエチニル化反応	落合正仁	徳島大学薬学部
⑦	15:10~15:25	一般講演	フルオロアルケルヨードニウム塩を用いたカップリング反応による(Z)-フルオロアルケンの立体選択的合成	吉田雅紀	北海道大学大学院工学研究科
⑧	15:25~15:40	一般講演	ヨウ素酸化細菌は海洋に広く生息する	天知誠吾	千葉大学園芸学部
⑨	15:40~15:55	一般講演	千葉県九十九里地域における、かん水中のヨウ素濃縮について	三田勲	日本天然ガス株式会社

< IV部:講演 > 1F大ホール

(座長:佐久間昭)					
⑩	15:55~16:30	招待講演	ヨウ素安定化 Nd:YAGレーザー	洪鋒雷	産業総合技術研究所
(座長:中平隆幸)					
⑪	16:30~17:30	特別講演	ヨウ素と高分子合成—精密重合における重要性	澤本光男	京大大学院工学研究科

※各公演時間は、質疑応答の時間5分を含みます。

ポスター発表(一般講演)プログラム <A基礎、B応用、C実用、W:FIU ワーキンググループ>
発表と質疑は前半 13:00~奇数番号、後半 13:40~偶数番号

No.	発表タイトル	○発表者・研究者	所属団体
A01	超原子価ヨウ素を用いるポリオキサ中員環化合物の簡便合成	仙北久典、○千葉正貴、原 正治	北大院工
A02	IF ₅ を用いるスルフィド類の効果的ポリフッ素化反応	○平松千春、阿由葉慎市、福原疆、原正治	北大院工
A03	超原子価ヨウ素化合物を用いたカルボニルのα位の新規フッ素化反応	○佐藤紗絵子、吉田雅紀、原 正治	北大院工
A04	超原子価ヨウ素試薬を用いるN-アルケニルカーバメイト類の分子内環化反応	○角田広子、桐原正之	富山医薬大医、静岡理工大
A05	セルロース・ヨウ素錯体の調整法とその物理化学的特性に与える塩化亜鉛の効果	○三輪春奈、角田勝則、石井忠弘、矢島博文	東京理大理
A06	キシログルカン-ヨウ素錯体の物理化学的特性	○藤原孝之、寺田彩子、三輪春奈、角田勝則、石井忠浩、矢島博文、湯口宜明、白川真由美	東京理大理、産総研、大日本製薬
A07	キトサン/デンドリマーハイブリット・ヨウ素超分子錯体の物理化学的特性と生理活性評価	○青野敬至、森本泰正、角田勝則、石井忠浩、矢島博文、指輪仁之	東京理大理、産総研
A08	L-Tyrosyl-tyrosineのヨウ素化合物の分離及びシーケンス分析	○宮下正弘、瀬山義幸	星薬大薬
A09	ヨウ素包接シクロデキストリンをもちいたアルミニウム陽極酸化皮膜への含浸とその抗菌性の評価	○増田洋子、橋本和明、吉田克之、戸田善朝、宇田川重和	千葉工大工
A10	官能基置換ベンザイン発生剤の開発	○北村二雄、青木美樹、土井陽子	佐賀大理工
A11	ヨウ素による無溶媒条件下でのナフタレン環生成反応:溶液未使用生成の検討	○松本祥治、小倉克之	千葉大工
A12	4配位1,2-ヨードキセタン 1-オキシドの熱分解反応および酸化剤としての応用	○大橋正樹、干場和永、苅野直和、川島隆幸	東大院理
A13	異種ハロゲン化TTF誘導体を用いた有機伝導体	○水津理恵、今久保達郎	理研
A14	ポリヨウ素コンプレックスを利用した高分子結晶への無機塩の分散	○川口昭夫、鶴谷直樹、後藤康夫	京大原子炉、京大理、信州大繊維
A15	ヨウ素129メスバウアー効果によるカーボンナノチューブ中のヨウ素の形態	○北尾真司、瀬戸真、増淵伸一、風間重雄、片浦弘道、真庭豊、鈴木信三、阿知波洋次	京大原子炉、東京医大、中大理工、都立大理
B01	超原子価ヨウ素試剤とポリマー型スルホン酸を用いた、ケトン及びアルコールからの芳香族複素環類の合成	○上野誠人、東郷秀雄	千葉大院自然、千葉大理
B02	癌の早期治療効果判断を目的とする放射性ヨウ素標識アミノ酸の開発	○上原知也、江尻菜穂子、中川美鈴、高井信彦、青木瑞穂、古沢佳也、安藤興一、荒野泰	千葉大院薬、放医研
B03	超原子価ジフルオロヨードベンゼンおよびクロロフルヨードベンゼン類の電解合成と有機硫黄化合物のフッ素化への応用	○淵上寿雄、藤田寿康、長谷川勝	東工大総合理工
C01	ヨウ素製剤におけるヨウ素とレシチンの作用について	○藤村みつ子	埼玉県大短
C02	ヨード配合台所洗剤「天然ヨード物語」	村上有司、○福澤弘、酒井弘顕	日本天然ガス、白子町
C03	燻蒸剤『アイオガード』Ⅱ	赤川茂樹、○田口信洋	日宝化学
C04	ヨウ素系殺菌剤『イセフォール』の開発	○坂本啓司、澤田正哉	伊勢化学
C05	ヨウ素化合物とPTFEで修飾したアルミニウム陽極酸化皮膜のトライボロジー特性	○高谷松文、前嶋正受、橋本和明、戸田善朝、中岸豊、坂口雅章	千葉工大工、奥野製薬
W01	土壌植物系における窒素の形態変化と植物のヨウ素	○関本均、町田裕美、菊地沙織、	宇都宮大農
W02	円石藻 <i>Emiliania humleyi</i> におけるヨウ素含有たんぱく質の精製	○岩本浩二、白岩善博	筑波大生物
W03	高度ヨウ素利用海洋微生物の検索とその活性検査法の開発	○白岩善博、岩本浩二	筑波大生物、
W04	菌類によるヨウ素の取り込みと気化-その2:不完全菌類-	○坂内忠明、村松康行	放医研
W05	環境からのヨウ素蓄積細菌の単離	○三島祐和子、天知誠吾、藤井貴明、	千葉大院自然

W06	ヨウ素、臭素及び塩素の土壌吸着率比較	○結田康一、阿部智英子、木方展治、藤原英司、野崎正、	元農環技研、元東京農大、農環技研、元理研
W07	¹²⁹ Iを用いた房総半島及びその他で採取した鹹水中ヨウ素の年代測定	○村松康行、吉田聡、Udo Fehn、松本良、戸丸仁	放医研、Rochester 大、東大
W08	食用海草中のヨウ素濃度分析	○福島美智子・Keila Isaac-Olive、Amares Chatt	石巻専修大理工、Dalhousie Univ. Canada
W09	ヨウ化イオンがトマト・ハウレンソウの生育に及ぼす影響	○権田かおり、小粥理恵、篠原温、丸尾達	千葉大園芸

17:40~19:00	懇親会（けやき会館3Fレセプションホール）
-------------	-----------------------